

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	県営緑ヶ丘団地公営住宅	階数	地上4F
建設地	神奈川県厚木市緑ヶ丘3丁目1-1 外 3筆	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	110 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年7月 予定	評価の実施日	2016年12月7日
敷地面積	3,420 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社アベ設計
建築面積	947 m <sup>2</sup>	確認日	2016年12月7日
延床面積	2,697 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社アベ設計

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.8** ★★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.7

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 用途が県営住宅であるので、低コストで且つエネルギー削減に配慮する。住宅に必要なとされる自然光、自然風、自然熱を効率よく取り入れることができるように配慮し、また周辺の近隣住民や近隣の建物と調和する計画とする。	<b>その他</b> 工事中における重機などの振動、騒音は計測器などで監視を行い、周辺近隣への配慮をする。工事で発生した不要な資材を分別しリサイクル利用する。産業廃棄物が発生しにくい工事方法を考慮する。	
<b>Q1 室内環境</b> 隣戸間隔は適度にはなし遮音性能を十分に確保する。居室の開口を大きくし光、風を積極的に取り入れるように配慮する。	<b>Q2 サービス性能</b> 建物更新や修繕時にリサイクルが容易にできる材料を使用する。共用配管は共用廊下面に配置し、設備配管等更新性、機能性を配慮する。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物周囲に多くの緑地を設け、季節感を感じる植樹を行う。また、周辺の建物と比べて突出しない外観、色彩とし調和を図る。
<b>LR1 エネルギー</b> 設備機器や照明機器(LED)にはエネルギー削減に配慮した機器を選定することでCO <sub>2</sub> の排出削減を図る。住宅部分は潜熱回収型給湯器を使用し等級4とした。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 再生材などを積極的に採用し資源の無駄使いやCO <sub>2</sub> 排出削減を図る。また有害物質を含まない材料を最大限に採用する。内部仕上げ外周周りはGL工法を採用する。	<b>LR3 敷地外環境</b> 近隣周辺への日影による影響や風向きの変化に対する影響などが無い様な計画とする。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される